

競技規則問題 2025 C級 ①



- 1 競技規則でコートのはりはどのように規定されているか。
 - (a) 40 × 20 m
 - (b) 42 × 20 m
 - (c) 38 × 18 m
 - (d) 長さ 38 ～ 42 m、幅 18 ～ 22 m

- 2 前半の終了直前に白チームの 7 番は、黒チームの 5 番に暴力行為をすると同時に明らかな得点チャンスを妨害した。レフェリーが笛を吹く前に自動終了の合図があった。
 - (a) 前半の終了とし、白チームの 7 番に罰則は適用しない
 - (b) 前半の終了とし、7 m スローやフリースローを行わない
 - (c) レフェリーは白チームの 7 番にレッドカードとブルーカードを示し、報告書を伴う失格とする
 - (d) 黒チームの 7 m スローとする
 - (e) レフェリーは白チームの 7 番にレッドカードを示し、失格とする

- 3 白チームが攻撃中、白チームのチーム役員 A がチームタイムアウトを請求するためにオフィシャル席に行き、タイムキーパーの目の前の机の上にグリーンカードを置いた。ちょうどそのときに白チームの 4 番がシュートを打ち、得点を決めた。タイムキーパーは、ボールが黒チームのゴールラインを通過した直後に、チームタイムアウトの笛を鳴らした。
 - (a) 白チームの得点
 - (b) 白チームがチームタイムアウトを請求したため、得点は認められない
 - (c) 白チームのチームタイムアウト
 - (d) 白チームはもはやボールを所持しておらず、チームタイムアウトは認められない
 - (e) 白チームにグリーンカードを返さなければならない
 - (f) 黒チームのスローオフ

- 4 ボールの色彩は何種類認められるか。
 - (a) 1 種類
 - (b) 2 種類
 - (c) 3 種類
 - (d) 制限なし

5 競技の開始とともに、白チームの会長は 2 名のチーム役員、トレーナー、そしてコーチとともに交代地域のベンチに腰を下ろした。

- (a) 控えのゴールキーパーは、ベンチの後方で立っていなければならない
- (b) 会長は、交代地域から去らなければならない
- (c) 役員のうち誰か 1 名が、交代地域から去らなければならない
- (d) 記録用紙に記載されていない者はすべて、交代地域から去らなければならない
- (e) チーム責任者に、段階的罰則を適用

6 白チームのゴールキーパー 1 番がシュートを止め、ボールは白チームの交代ベンチ近くのサイドラインに向かって転がっていった。ベンチに座っていた白チームの 5 番がコート内に片足を入れてボールを止めたので、ボールがサイドラインを越える前に白チームの 4 番はボールを所持することができた。

- (a) 黒チームのフリースロー
- (b) 白チームの 5 番を 2 分間退場
- (c) (レッドカードを示し) 白チームの 5 番を失格
- (d) 白チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす
- (e) 黒チームの 7 m スロー
- (f) (レッドカードとブルーカードを示し) 白チームの 5 番は、報告書を伴う失格

7 黒チームの 9 番は、速攻で走っていた黒チームの 10 番にパスを出した。その後、黒チームの 9 番は、白チームの 11 番によって引き倒された。さらに黒チームの 10 番はボールをキャッチした際に、転倒し負傷した。

- (a) 白チームの 11 番を警告とする
- (b) 白チームの 11 番を 2 分間の退場とする
- (c) 一方のレフェリーがジェスチャー 15 と 16 を示した後、参加資格のある者のうち黒チームの 2 名が、黒チームの 10 番に対するコート上での治療行為のため、コート内へ入場できる
- (d) コート上での治療の後、黒チームの 10 番は、そのまま競技を続けることができる
- (e) コート上での治療の後、黒チームの 10 番は、自チームが 3 回の攻撃を終えた後、コートに戻ることができる
- (f) タイムアウト

8 黒チームのゴールキーパー 1 番は、シュートを止めた。ボールはプレーイングエリアに向かって転がっていった。ゴールエリアライン近くで待ち構えている白チームの 15 番がボールをキャッチすることを防ぐため、ボールに届く直前に、黒チームのゴールキーパー 1 番は、片足でボールの転がる向きを変えてアウターゴールラインの外へ出した。

- (a) 白チームの 7 m スロー
- (b) 白チームのフリースロー
- (c) そのまま競技を続行
- (d) 相手を危険にさらしたため、黒チームのゴールキーパー 1 番に、段階的罰則を適用

9 白チームはゴールキーパーが不在の状況で、攻撃を行っている。白チームの 11 番が打ったシュートを止めた黒チームのゴールキーパー 1 番は、ゴールキーパー不在のゴールを狙ってボールを投げた。白チームの 10 番は、ボールがゴールに入るのを阻止するため自チームのゴールエリアの外側からジャンプし、ゴールエリア内の空中でボールに触れた。そのためボールは、アウターゴールラインから出ていき、ボールに触れた白チームの 10 番は、ゴールエリアの中に着地した。

- (a) 白チームのゴールキーパーズロー
- (b) 黒チームのフリースロー
- (c) 黒チームの 7 m スロー
- (d) 黒チームのスローイン
- (e) 白チームの 10 番に段階的罰則を適用

10 黒チームの 3 番が黒チームの 11 番に難しいパスを出したが、黒チーム 11 番はボールが空中にあるときにキャッチできないと判断し、コート中央にいた黒チームの 9 番に向けてボールをこぶしで叩いた。

- (a) そのまま競技を続行
- (b) 黒チームの 9 番の位置から、白チームのフリースロー
- (c) 黒チームの 11 番の位置から、白チームのフリースロー
- (d) 黒チームの 11 番を 2 分間退場

11 白チーム 5 番の速攻中に、黒チームのチーム役員 C がベンチから飛び出して自陣のゴールエリアの方へ走っていった。白チームの 5 番は驚いて走るのを止めたが、レフェリーは明らかな得点チャンスを得ていたと判断した。黒チームのチーム役員 C は、ボールを所持していた白チーム 5 番の体には触れていなかった。黒チームのチーム役員 C が白チーム 5 番に最も接近したときで、その距離は約 10 m であった。

- (a) タイムアウト
- (b) 白チームのフリースロー
- (c) 白チームの 7 m スロー
- (d) 黒チームのチーム役員 C を、報告書を伴わない失格とする
(レッドカードを示す)
- (e) 黒チームのチーム役員 C を、報告書を伴う失格とする
(レッドカードとブルーカードを示す)
- (f) 黒チームは、コート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす

12 競技規則により、報告書を伴う失格となる違反（レッドカードとブルーカードが示される）はどれか。

- (a) プレーヤーが相手に唾を吐いて命中させる
- (b) チーム役員が自チームに競技を強引に放棄させようとする
- (c) 7 m スローの実施に際して、ボールの方向へと移動していないゴールキーパーの頭部にボールをぶつける
- (d) レフェリーの判定の後、これ見よがしにプレーヤーが観客席にボールを投げ込む
- (e) コート外で、プレーヤーが観客に唾を吐いて命中させる
- (f) プレーヤーが意図的に相手の腹部を殴る

13 競技終了 3 秒前、得点は 25 対 25 で白チームが攻撃をしている。黒チーム 5 番が白チーム 2 番へ違反したことにより、黒チームのフリースローライン付近で白チームにフリースローが与えられた。その直後、公示時計による終了合図があった。そのためレフェリーは、自動終了合図の後のフリースロー（最後の一投）を実施させるため、笛を吹いた。スローを行うプレーヤーがボールを手から離す前に、黒チームの 6 番は違反の起こった位置近くまで歩み寄り、フリースローの実施を妨害した。

- (a) 競技の終了
- (b) フリースローを再度実施
- (c) 白チームの 7 m スロー
- (d) 黒チームの 6 番を、2 分間退場とする
- (e) 黒チームの 6 番を、失格とする（レッドカードを示す）

- 14 競技の終了直前、白チームが 22 対 21 でリードしているとき、競技規則に違反することなく、白チームの 5 番はスローオフを行い、ボールは白チームのゴールの方向に出された。白チームの 5 番のチームメイトは、レフェリーによるスローオフの笛の合図の後、ボールが出される前に黒チームのコートへと走り込んでいた。白チームのゴールキーパーはゴールエリア内にいたがボールには触れず、ボールはそのままゴールに入った。
- (a) 黒チームの得点
 - (b) 黒チームのフリースロー
 - (c) 笛の合図の後に、スローオフを再度実施
 - (d) 白チームの 5 番に段階的罰則を適用
 - (e) タイムアウト
- 15 白チームがコイントスに勝ち、サイドの交換を望んだ。黒チームは、白チームがスローオフを行うべきだと主張した。
- (a) 白チームのスローオフ
 - (b) サイドを交換し、黒チームのスローオフ
 - (c) コイントスを再度実施
 - (d) 両チームの代表者の同意が必要
- 16 白チームの 3 番は、サイドラインの 2 m 外側からスローインを行なった。
- (a) この行為は許されるため、そのまま競技を続行
 - (b) 黒チームのフリースロー
 - (c) 笛の合図なしに、スローインを再度実施
 - (d) 笛の合図の後に、スローインを再度実施
- 17 白チームのゴールキーパー 12 番が、ゴールキーパーズローを行おうとしていた。黒チームの 10 番は、ゴールエリアラインの外側に立ち、正しくボールを得ようとしていた。その後、ボールを得た黒チームの 10 番は、シュートを決めた。
- (a) 白チームのフリースロー
 - (b) 黒チームの得点
 - (c) 白チームのゴールキーパーズロー
 - (d) 黒チームの 10 番に段階的罰則を適用

- 18 白チームが攻撃中、レフェリーは黒チームにフリースローを与えた。黒チームの 2 番がフリースローを実施する前に、黒チームの 11 番は白チームの 8 番を引き倒した。
- (a) 笛の合図の後に、黒チームのフリースローを実施
 - (b) 笛の合図の後に、白チームのフリースローを実施
 - (c) タイムアウト
 - (d) 黒チームの 11 番に段階的罰則を適用する
 - (e) 黒チームの 11 番を失格とする（レッドカードを示す）
- 19 白チームはゴールキーパーが不在の状況で、7 人攻撃を行っている。黒チームの 5 番がパスをインターセプトした。黒チームの 5 番は、明らかに無人のゴールに向かって直接シュートを打とうとした。その瞬間、白チームの 6 番に背後から押されたため、黒チームの 5 番は身体のコントロールを失い、ボールはゴールから外れた。
- (a) 黒チームのフリースロー
 - (b) 黒チームの 7 m スロー
 - (c) タイムアウト
 - (d) 白チームの 6 番を 2 分間退場
 - (e) 白チームの 6 番を失格（レッドカードを示す）
- 20 白チームのフリースローライン近くで黒チームのフリースローとなった。レフェリーは、フリースローラインとゴールエリアラインの間に黒チームの 8 番がいるのを見落としていたため、黒チームの 8 番はボールを受け取り、シュートを決めた。
- (a) 笛の合図の後に、黒チームのフリースローを再度実施
 - (b) 白チームのフリースロー
 - (c) 黒チームの得点
 - (d) 黒チームの 8 番を警告
- 21 プレーヤーの退場時間を計測し始めるのはいつか。
- (a) レフェリーが退場のジェスチャーをしたとき
 - (b) 退場となったプレーヤーがサイドラインを越えたとき
 - (c) レフェリーが競技再開の笛を吹いたとき
 - (d) タイムキーパーがストップウォッチを始動させたとき

- 22 黒チームの 8 番は、1 回目の 2 分間退場となった。競技再開前、黒チームの 8 番はコートから去る際、レフェリーにスポーツマンシップに反する態度で話しかけた。
- (a) 黒チームの 8 番に 2 分間退場を追加する。黒チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 2 名減らす
 - (b) 黒チームの 8 番に 2 分間退場を追加する。黒チームはコート上のプレーヤーを 4 分間 1 名減らす
 - (c) 黒チームの 8 番を失格とする（レッドカードを示す）。黒チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 2 名減らす
 - (d) 黒チームの 8 番を失格とする（レッドカードを示す）。黒チームはコート上のプレーヤーを 4 分間 1 名減らす
- 23 競技中、レフェリーに話しかけることが許されるのは誰か。
- (a) すべてのプレーヤー
 - (b) すべてのチーム役員
 - (c) チーム責任者
 - (d) チームキャプテン
- 24 タイムキーパーやスコアキーパーは、レフェリーが交代地域規定に反する行為に気づかなかった場合、いつレフェリーに伝えるべきか。
- (a) 直ちに違反を知らせる
 - (b) 次に競技が中断したときに違反を知らせる
- 25 センターラインから、チームベンチの始端までの距離はどれだけか。
- (a) 1 m
 - (b) 2 m
 - (c) 3 m
 - (d) 3.5 m